

## 議案第1号

### 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

#### 1. 事業評価の目的等

みやま市地域公共交通活性化協議会が策定する「生活交通確保維持改善計画」は、国の地域公共交通確保維持改善事業の支援を受けて進めているものです。該当する事業については、毎年度、協議会において事業の実施状況の確認、目標達成状況等の事業評価を行うこととされております。

生活交通確保維持改善計画に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的としています。

#### 2. 事業評価の流れ

①「生活交通確保維持改善計画」…平成30年6月25日協議会にて策定

②事業実施…実施期間：H30.10.1～R1.9.30

③自己評価（一次評価）…令和2年1月に運輸局に報告

※今回ご審議いただく内容になります。

④二次評価…各地方運輸局等に設置された第三者評価委員会において、一時評価の結果に対し、客観性・妥当性の検証及び今後に向けてのアドバイスを受けます。

#### 3. 「地域内フィーダー系統関係」一次評価について

第9回協議会（平成30年6月25日開催）において承認いただいた、

「生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）」に基づき運行を行ったコミュニティバス9路線14系統についての事業評価です。

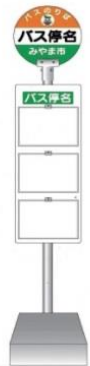
「④事業実施の適切性」については、自然災害や事故などのトラブルもなく、計画通り運行することができたため、全ての路線についてAと評価しました。

「⑤目標・効果達成状況」については、目標を達成したものはAとし、目標を達成できなかったもので1便あたりの利用者数が2人以上のものはB、1便あたりの利用者数が2人未満のものはCと評価しました。

## 概要



コミュニティバス「くすっぴー号」



### ●運行の主体 みやま市

本市の交通状況は、市中央部に3つの駅を有するJR鹿児島本線が南北に横断し、その西側を2つの駅を有する西鉄天神大牟田線が併走している。また、市東部には九州新幹線が走り、筑後船小屋駅が隣接している。バス路線としては、堀川バスが1路線(瀬高・柳川線)のみ、JR瀬高駅から隣接する柳川市まで運行している。市では、平成20年4月より高齢者や障がいがある方等を対象に、生活交通手段の確保を目的に、福祉バスを運行していたが、誰もが利用可能な生活交通手段を求める意見が市民より多く寄せられていた。そのため平成30年3月より定時定路線型コミュニティバス「くすっぴー号」(市町村有償運送)の運行を開始した。

## 基礎データ

合併状況: 平成19年1月に瀬高町、山川町、高田町が合併  
 人口: 37,475人(平成31年3月末時点)  
 面積: 105.21平方キロメートル  
 過疎地域等指定: 過疎  
 高齢化率: 36.8%(平成31年3月末時点)  
 系統数: コミュニティバス9路線14系統  
 運行便数: 1日2便~6便  
 自治体負担額: H28(0千円)、H29(0千円)、H30(23,750千円)  
 協議会開催数: 協議会 年3回(R1年度予定)

## 計画、目標(Plan)

誰もが利用可能な定時定路線型コミュニティバスを市内全域で運行させ、市民(主に高齢者等)の日常生活における移動手段を確保する。運行にあたっては、路線バスや鉄道など既存の公共交通機関とも連携を図りながら、各地区と医療機関、商店などの生活目的施設、市役所などの公的機関を結ぶ、利用しやすい公共交通ネットワークの形成を目指す。

## 生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

- ・定時定路線型のコミュニティバス6台(26人乗りマイクロバス2台、12人乗り大型ワゴン3台、13人乗り大型ワゴン1台)を運行し、誰もが利用できる生活交通手段の確保を図った。
- ・広報誌での記事掲載や全世帯へ配布する時刻表の大幅なりリニューアル、ホームページでの情報発信、出前授業で利用呼びかけ、利用のきっかけ作りのための無料の日の実施、市民祭りでの街頭啓発など利用促進のための取組みを行った。
- ・利便性向上のため、一部路線延長や市役所バス停に防風カーテンの設置を行った。
- ・利用状況の集計・分析を実施した。

## 実施状況、目標の達成(Check)

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| ○コミュニティバスの1便当たり乗車人数              | ・山川・瀬高線① 12.42人(目標:7人)        |
| ・水上・本郷線 6.39人(目標:3人)             | ・山川・瀬高線② 1.58人(目標:2人)         |
| ・清水・上庄線 2.46人(目標:3人)             | ・山川・瀬高線③ 2.24人(目標:2人)         |
| ・瀬高・高田線(太神・岩田経由) ①4.01人(目標:4人)   | ・高田南部・西部線① 3.43人(目標:3人)       |
| ・瀬高・高田線(太神・岩田経由) ②2.03人(目標:4人)   | ・高田南部・西部線② 4.02人(目標:3人)       |
| ・高田・瀬高線(江浦・浜田・大江経由) 4.04人(目標:5人) | ・山川・高田線(亀谷・竹飯経由) 2.50人(目標:3人) |
| ・高田・瀬高線(国道209号経由) 7.39人(目標:8人)   | ・山川・高田線(田浦・田尻経由) 1.71人(目標:3人) |
| ・高田・瀬高線(国道209号経由) 0.25人(目標:2人)   |                               |

○14系統中、目標達成は6系統、目標未達成は8系統であった。  
 利用者数は増加傾向であり、目標達成した系統が3系統増えたが、いまだに目標が未達成系統が多い。  
 ○達成できなかった系統では、利用者のほとんどが福祉バスを利用していた高齢者であり、それ以外の利用が伸びなかった。

## 今後の課題、対応(Action)

- 利用状況の分析や、地域住民、利用者の声を受けて、利用しやすい運行ができるように、令和2年4月より運行の一部見直し(ルートの見直し、ダイヤ改正)を実施する。
- 新たな利用者を開拓するため、今後もコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。

※PDCAを記入する際、枠が足りない場合は、次頁に作成することも可とします。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月17日

協議会名:みやま市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
みやま市 水上・本郷線	瀬高町の水上～清水～上庄～ 本郷地域を運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 【目標】3人／便 【実績】6.39人／便 目標比+3.39人 目標達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>
みやま市 清水・上庄線	瀬高町の清水～水上～本郷～ 上庄地域を運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標】3人／便 【実績】2.46人／便 目標比-0.54人 目標達成にいたらなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僅かに利用者は増加したが、便あたりの利用者数が目標より少なかった。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由①)	瀬高町～高田町を太神・岩田 地域を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 【目標】4人／便 【実績】4.01人／便 目標比+0.01人 目標達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は目標未達成だったが、目標達成した。</li> <li>・現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>
みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由②)	瀬高町～高田町を太神・岩田 地域を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標】4人／便 【実績】2.03人／便 目標比-1.97人 目標達成にいたらなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年より利用者が少なかった。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・ 大江地域を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標】5人／便 【実績】4.04人／便 目標比-0.96人 目標達成にいたらなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に届かなかったが、利用が増えている。引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努め目標達成を目指す。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>
みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を国道209号 を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標】8人／便 【実績】7.39人／便 目標比-0.61人 目標達成にいたらなかった。	便数も多く速達性の高い系統であり、利用者から利用しやすいとの意見が多い。利便性が低下しないようにしつつ、引き続き、更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	新船小屋からJR瀬高駅間を運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 【目標】2人／便 【実績】0.25人／便 目標比-1.75人 目標達成にいたらなかった。	新船小屋からJR瀬高駅間の4.5kmを山川・瀬高線③の最終便への接続のため運行している。回送的な運行であるため、利用者は限られている。JR瀬高駅までの利用や山川町から老人ホーム楠寿園へ訪問される方の帰宅のための利用ニーズがある。
みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 【目標】7人／便 【実績】12.42人／便 目標比+5.42人 目標達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
みやま市 山川・瀬高線②	山川町の市役所山川支所～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 【目標】2人／便 【実績】1.58人／便 目標比-0.42人 目標達成にいたらなかった。	夕方の帰宅者向けの運行をしており、定期的な利用者があるが、利用が限られている。山川・瀬高線①と違い終点の真弓公民館まで行かないため、利用しづらいとの意見があった。そのため、令和2年4月1日より終点の真弓公民館まで運行する。
みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号を經由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 【目標】2人／便 【実績】2.24人／便 目標比+0.24人 目標達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は目標未達成だったが、目標達成した。</li> <li>・JR利用者が山川方面へ帰宅するために必要な系統である。目的のバス停まで時間がかかり過ぎており、JR瀬高駅バス停以外で乗車がほぼないため、令和2年4月1日よりJR瀬高駅以降は降車のみとして、乗車時間の短縮を図り、利用者の利便性を向上及び運転手の負担軽減を行う。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
みやま市 高田南部・西部線①	高田町の南部及び西部地域を あたご苑から市役所高田支所 を経由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの 情報発信、市民祭りでの街頭 啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度 向上及び継続利用のきっかけ づくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりや すい時刻表を作成し全戸配布 を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を 実施したが、運行ルート及びダ イヤの見直しまでは至らなかつ た。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	A 【目標】3人／便 【実績】3.43人／便 目標比+0.43人 目標達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は目標未達成だったが、 目標達成した。</li> <li>・利便性の向上を求める意見 があるため、利用者にとってよ り良い運行を検討する。</li> </ul>
みやま市 高田南部・西部線②	高田町の南部及び西部地域を ヨコクラ病院前から市役所高田 支所を経由しJR渡瀬駅まで運 行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの 情報発信、市民祭りでの街頭 啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度 向上及び継続利用のきっかけ づくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりや すい時刻表を作成し全戸配布 を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を 実施したが、運行ルート及びダ イヤの見直しまでは至らなかつ た。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	A 【目標】3人／便 【実績】4.02人／便 目標比+1.02人 目標を達成した。	利便性の向上を求める意見が あるため、利用者にとってより 良い運行を検討する。



①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	山川町～高田町を亀谷・竹飯 地域を経由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標】3人／便 【実績】2.50人／便 目標比-0.50人 目標達成にいたらなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標には届かなかったが、利用が増えている。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>
みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	山川町～高田町を田浦・田尻 地域を経由して運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。</li> <li>・一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。</li> <li>・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。</li> <li>・利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 【目標】3人／便 【実績】1.71人／便 目標比-1.29人 目標達成にいたらなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僅かに利用が増えているが、目標達成にはいたらなかった。沿線の人口は少ないが、みやま市でも特に不便な地域を通る系統であるため、コミュニティバスが必要な地域である。</li> <li>・令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。</li> </ul>